

洪水予報の発表形式を改善します

平成19年4月19日から、国（北陸地方整備局と新潟地方気象台）及び新潟県が発表する洪水予報において、洪水の危険のレベルをわかりやすい表現に改善し、市町村や住民がとるべき避難行動等との関連がわかりやすいようにします。

北陸地方整備局、新潟地方気象台及び新潟県は、洪水予報を行う河川とその区間を指定し、洪水のおそれがある場合に共同で洪水予報を発表しています。

洪水等が発生した際、地域住民のよりの確で安全な避難実施のためには、河川の危険の状況等の防災情報が、迅速に伝達されるだけでなく、受け手や伝達者である住民や市町村の防災担当者、報道機関に正確に理解され、的確な判断や安全な行動につながる情報の内容や表現であることが極めて重要です。

このため、国土交通省河川局及び気象庁では、「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し検討を行ってきましたが、昨年6月に検討委員会の提言が「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」としてとりまとめられ、これに基づき、「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日国河情第3号河川局長通知）を定め、洪水予報の発表形式を改善することとしました。

今回の改善の主なポイントは以下のとおりです。【参考1～3参照】

1. 市町村や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称を洪水の危険に応じてレベル化します。

危険レベル毎の標題とそれに対応する水位は以下のとおりです。

- レベル5 標題:はん濫発生情報 状態:はん濫発生
- レベル4 標題:はん濫危険情報 水位名称:はん濫危険水位
- レベル3 標題:はん濫警戒情報 水位名称:避難判断水位
- レベル2 標題:はん濫注意情報 水位名称:はん濫注意水位
- レベル1 (発表はしない) 水位名称:水防団待機水位

2. 洪水予報の内容を理解しやすいように、発表内容を要約した見出し文 (40文字以内)を新たに付けます。

今回の改善は、下記担当官署が共同で発表する河川を対象とする洪水予報について、平成19年4月19日から実施します。

河川名	担当官署
荒川	国土交通省 羽越河川国道事務所 気象庁 新潟地方気象台
阿賀野川	国土交通省 阿賀野川河川事務所 気象庁 新潟地方気象台
信濃川下流	国土交通省 信濃川下流河川事務所 気象庁 新潟地方気象台
中ノ口川	新潟県 新潟地域振興局 気象庁 新潟地方気象台
信濃川中流	国土交通省 信濃川河川事務所 気象庁 新潟地方気象台
魚野川	
関川	国土交通省 高田河川国道事務所 気象庁 新潟地方気象台
姫川	

問い合わせ先
北陸地方整備局河川管理課 渡部 修 (代表 025(280)8880 内3752)
新潟地方気象台防災業務課 永井 直昭(代表 025(244)1703)
新潟県土木部河川管理課 藤塚 惣一(代表 025(285)5511 内3262)

【参考 1】 洪水の危険のレベルに対応した表現等

洪水の危険のレベル	洪水予報の標題 [洪水予報の種類]	水位の名称 [現行の用語]	市町村・住民に求める行動等
レベル5	はん濫発生情報 [洪水警報]	(はん濫発生) [(設定なし)]	逃げ遅れた住民の救助等 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導
レベル4	はん濫危険情報 [洪水警報]	はん濫危険水位 [危険水位]	住民の避難完了
レベル3	はん濫警戒情報 [洪水警報]	避難判断水位 [(設定なし)]	市町村は避難勧告等の発令を判断 住民は避難を判断
レベル2	はん濫注意情報 [洪水注意報]	はん濫注意水位 [警戒水位]	市町村は避難準備情報(要援護者避難情報)発令を判断 住民ははん濫に関する情報に注意 水防団出動
レベル1	(発表なし)	水防団待機水位 [通報水位・指定水位]	水防団待機

